

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

消化器病における臨床情報と関連する免疫組織学的所見の検討

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 消化器肝臓内科 （研究責任者）木暮 宏史

＜研究期間＞

承認日 ～ 令和 11（西暦 2029）年 3 月 31 日

＜対象となる方＞

西暦 2014 年 4 月 1 日 ～ 西暦 2024 年 5 月 31 日の期間に消化器肝臓内科で組織採取された方

＜研究の目的＞

消化器病の臨床経過や血液検査結果や画像検査所見と対応する免疫組織学的所見の関連について解析を行います。近年病理組織、特に疾患局所の炎症細胞浸潤と予後に関連があることが報告されています。当院で過去に採取された組織と診療情報録の血液検査や画像検査また臨床経過についてデータを収集し、組織に対して免疫染色を行います。局所の腫瘍細胞などの遺伝子発現パターンと炎症細胞浸潤程度と診療情報録の情報を併せて解析を行うことで、疾患のよりよい理解を得ることを目的としています。ここを明らかにすることにより、将来のよりよい治療法を開発することなどに活用することを目指しています。

＜研究の方法＞

過去に当院で採取された組織と診療情報録を用いて解析を行いますので、患者さんへの新たな侵襲や費用負担はありません。当院で内視鏡やエコーガイド下に採取された組織に対して免疫染色を行います。免疫染色は組織中の特定の遺伝子などに対する抗体を用いて、その遺伝子が発現しているかどうかを確認する方法です。この免疫染色の結果と診療情報録記載の情報を比較解析します。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

当院で 2014 年 4 月 1 日から 2024 年 5 月 31 日までの期間に、内視鏡下もしくはエコーガイド下に採取された組織検体を使用します。また組織検体を採取された患者さんの血液検査・画像検査・診療記録を診療情報録（電子カルテ）から取得します。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

消化器肝臓内科 氏名：高橋 悠

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2424